国立大学法人鳴門教育大学理事選考規則

平成16年 4月 1日

規則第 16号

改正 平成22年3月24日規則第12号

令和 4年3月 9日規則第16号

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人法（平成15年法律第112号）第13条から第17条の規定に基づき、国立大学法人鳴門教育大学理事（以下「理事」という。）の選考、任期及び解任等について定める。

(選考)

第2条 理事の選考は、学長が行う。

2 理事は、鳴門教育大学の内外を問わず、人格が高潔で、学識が優れ、かつ、大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者のうちから選考する。

3 学長は、理事を選考するに当たっては、その選考の際現に本法人の役員又は職員でない者が含まれるようにしなければならない。

(選考の時期)

第3条 学長は、その職に就任したとき、又は次の各号の一に該当する場合に理事の選考を行う。

- (1) 理事の任期が満了するとき。
- (2) 理事の辞任願を受理したとき。
- (3) 理事に解任通知書を交付したとき。
- (4) 理事が欠員となったとき。

2 前項第2号から第4号までのいずれかに該当する場合は、速やかに選考を行うものとする。

(任期)

第4条 理事の任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。この場合において、当該理事がその最初の任命の際現に本法人の役員又は職員でなかったときの第2条第3項の規定の適用については、その再任の際現に本法人の役員又は職員でない者とみなす。

2 理事が任期満了前に辞任し、又は欠員となった場合の後任者の任期は、前項の規定にかかわらず、前任者の残任期間とする。

3 学長が任期途中で離職（死亡を含む。）した場合は、学長就任日の前日をもって辞任するものとする。

(理事の解任)

第5条 学長は、理事が次の各号のいずれかに該当するとき、その他理事たるに適しないと認めるとき、又は、職務の遂行が適当でないため本法人の業務の実績が悪化した場合であって、引き続き当該職務を行わせることが適当でないと認めるときは、理事を解任することができる。

- (1) 心身の故障のため職務の遂行に堪えないと認められるとき。

(2) 職務上の義務違反があるとき。

(届出及び公表)

第6条 学長は、理事を解任したときは、遅滞なく、文部科学大臣に届け出るとともに、これを公表しなければならない。

(細則)

第7条 この規則の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。